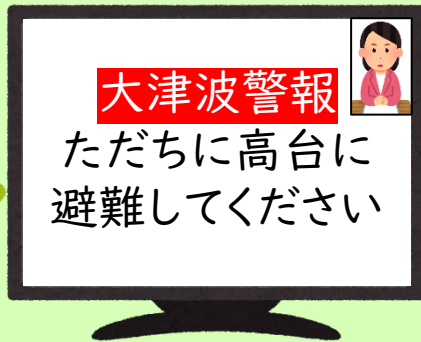


やさしい日本語

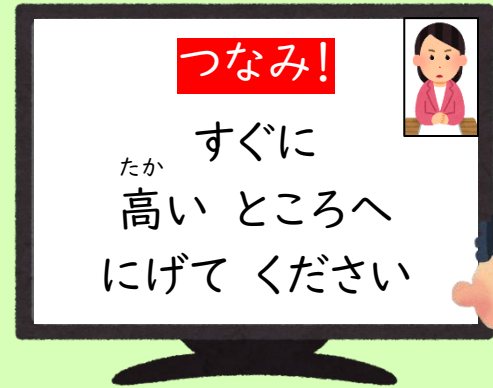
日本語でできる国際交流

ふつうの日本語



ただちに → すぐに
高台 → ^{たか}高いところ
避難 → にげて

やさしい日本語



—「やさしい日本語」とは?—

外国人にもわかるように、簡単に表した日本語のことです。

1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災では、多くの人が被害を受けました。そして、そのなかには、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を得ることができなかった外国人もいました。そこで、そのような外国人に情報を伝える手段の一つとして考え出されたのが、「やさしい日本語」です。

—「やさしい日本語」を使うのはどんなとき?—

- 外国人とコミュニケーションをとりたいとき
その人の使う言語を知らなくても、「やさしい日本語」を使えば通じることがあります。
- 災害時など通訳の人をさがす余裕がないとき
早く情報を伝える手段として有効になることがあります。
- 子どもや高齢者、障がいをもった人とコミュニケーションをとりたいとき
身ぶり手ぶり、ゆっくりとした大きな声、大きな文字、漢字やカタカナにはふりがな、絵や写真を添えるなど、「相手にとって分かりやすい工夫」をすることで「やさしい日本語」になります。

「やさしい日本語」の詳細がわかるウェブサイト



「やさしい日本語」の手引き(愛知県)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/0000059054.html>



やさしい日本語 ボランティア制作物など(名古屋国際センター)

<https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/publication/yasashii-nihongo-vol/>



在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインほか(文化庁)

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html